



## だより

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2  
Tel : 0564-51-1601 Fax : 0564-51-4831  
E-mail noudai@pref.aichi.lg.jp  
ホームページ : <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>



## CONTENTS

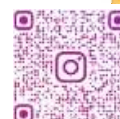
- 1 専攻紹介 切花専攻
- 2 専攻トピックス
- 3 学生クラブ紹介 (卓球部、茶道部)
- 4 研修紹介 (農業技術研修)
- 5 トピックス  
終業式  
後援会校内見学・懇話会  
おかざきかき氷街道へモモなどを提供  
第1回進路セミナー  
生産高度化研修 (イチゴ)
- 6 お知らせ  
オープンキャンパス  
愛知農業次世代リーダー塾  
令和5年度入学者選抜試験

愛知県立農業大学校  
公式HP



SNS

Instagram



Twitter



## 専攻紹介

# 切花専攻

切花専攻は、愛知県の花の未来を担う“元気な学生”12人(2年生5人、1年生7人)がメンバーです。

広さ1,500m<sup>2</sup>の温室や500m<sup>2</sup>の露地圃場で、全国一の花の生産額を誇る、愛知県の代表的な切り花のキク、カーネーション、バラのほか、ヒマワリ、ケイトウ、ストック、ベニバナなど、年間6万本を3つの部門(キク、バラ、洋花)に分かれて栽培しています。

栽培した植物は、毎週水曜日の実習販売や毎年12月に行われる農大祭で販売しています。バラ、ストックなどを組み合わせた華やかな花束や、キク、サカキなどを組み合わせた仏花が人気です。また、入学式や卒業式の壇上の会場装花では、日ごろの実習の成果を存分に発揮し、式を華やかに彩っています。

私たちは、実習や販売を通じて、花の魅力を身近に感じながら、日々の実習を明るく、楽しく行っています。

実習販売の様子



## キク



需要期(物日)にあわせた電照栽培を基本とし、露地で小菊も栽培しています。県育成品種の試作も行っています。

【栽培種類】

一輪ギク、スプレーギク、小ギク



## バラ



ロックウール培地を用いた養液栽培を行っており、アーチング方式での管理の他、改良切り上げ方式も試行しています。プロジェクトは香水づくりにチャレンジしています。

【栽培種類】

スプレーバラ、スタンダードバラ



## 洋花



洋花部門ではヒマワリ、ストックなど、一年を通して様々な花を育てています。色んな白花を染色したりして、楽しく実習しています。

### 【栽培種類】

カーネーション、ヒマワリ、ケイトウ、ペニバナ、ノコギリソウ、ミント、ストック、ハボタン、ガーベラなど



## 花束づくり



毎週水曜日は、実習販売用の花束づくりで最も忙しく、華やかになります。どんな花束がお客さんに喜ばれるのかを想像しながら、楽しく実習しています。



市場への視察 (県外学習)



入学式での壇上の花



プロジェクト調査



農大祭で恒例の花販売



花のアート



加工演習



## 専攻トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！



### 北海道で先進農業とブランド力を学ぶ

7月5日から7日、露地野菜と施設野菜専攻の県外学習で北海道の苫小牧市と夕張市を訪れました。苫小牧市では、先進的な植物工場でバイオマスや地熱の利用や統合環境制御による高糖度トマトとベビーリーフ栽培について学びました。夕張市では夕張メロンのブランドを維持するための取組を聞き、出荷場では品質管理方法を学びました。学生は今までに見たことのない大規模な施設やブランド力を高める取組に大変刺激を受けていました。



### 夏休み前にハウスの片付けを実施しています

施設野菜専攻では、昨年秋から今年の夏にかけてのトマト長期促成栽培が終了し、現在片付け作業を実施しています。全ハウスの片付け作業は株の切り取り、紐とり、持ち出し、太陽熱消毒と体力仕事が多く、早期の梅雨明けと重なり暑さとの戦いが続いています。この辛い作業を乗り切れば夏休み。10ヶ月続いた最後の仕事を1、2年生一体となって頑張っています。



### 宮城県の米づくりを学ぶ！ 県外学習を実施

7月5日～7日、2年生の県外学習で宮城県を訪問しました。訪問した農業法人で、必要な時期に必要な量の肥料と栄養素を与える栄養周期栽培について学びました。また、宮城県立農業大学校の水田経営学部を訪問し、現地の学生との交流会を実施しました。宮城県ならではのプロジェクト研究について学ぶとともに、JGAPの認証を取得している施設やほ場を見学することができました。学生同士で積極的に質問する姿勢も見られ、とても有意義な県外学習でした！





## 果樹専攻によるブドウ品評会を開催！

7月19日（火）、加温ハウス栽培のブドウの品評会を開催しました。2年生の14名、各々が摘粒した種なし巨峰を出品し、鷹羽校長を始め4名の審査員により、優れた品質のブドウ上位3位まで選びました。審査のポイントは、房の形状や傷、粒の大きさ、着色、ブルーム（果粉）の乗り等の外観の他、糖度や食味などです。

出品した学生は、品評会で入賞した房を観察し、受賞するための房づくりを学ぶとともに、試食会を行いました。

この品評会で学んだことを踏まえ、8月の「あいちのぶどうコンテスト」に出品する予定です。



## うわっ…切花のセリ、速すぎ…？

2年生が、6月に名古屋市の名港花き卸売市場、7月に東京都の大田市場を訪れ、切花のセリの様子などを見学してきました。どちらの市場も万単位の花を扱うため、開始時刻も早く進行速度も速い、スピード最重点のセリが繰り広げられていました。学生たちは仰天していましたが、大田市場の職員の方曰く、「これでも慣れてくると遅く感じる」とのこと。卒業後に市場や小売店で働いている先輩も多いことを考えると、頑張ればついていけるようになるはず、多分…。



## 東京の花き卸売市場や花屋さんを見学

鉢物・緑花木専攻と切り花専攻との合同で、東京の大田市場を視察しました。施設の大きさやセリの仕組み、植物を長くきれいに保つための倉庫の気温などを肌で感じる事ができました。アレンジメント教室も開いて頂き、大変有意義でした。さらに、東京にある花屋さんも見学し、青山の生花店をはじめ、多い学生では7、8軒のお店を見て回りました。店ごとに異なる洗練されたディスプレイを比べることができ、とても勉強になりました。

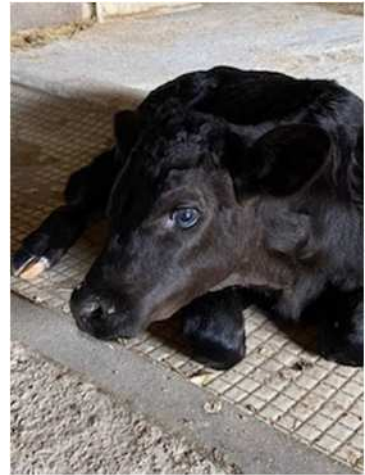




## がんばれ！赤ちゃん！

6月にハーフ（乳牛と和牛）の赤ちゃんが生まれました。お母さんが新米ママでふくよかなうえ、この赤ちゃんも大きくかなり難産となってしまいましたが、何とか生まれてきてくれました。一時は息も止まっていたましたが、学生たちの一生懸命のケアのもと、無事蘇生してくれました。今はミルク大好きな元気いっぱいの坊ちゃんです。

この子は2ヶ月ほどで里子に出されますがそれまでは学生たちの愛情のもと育てていきます。



## 水浴びで酷暑を乗り切れ！

梅雨明けすぐに猛烈な暑さに見舞われて、毎日熱中症で搬送される方が後を絶ちません。この厳しい暑さに豚も倒れそうです。

特に豚は人間のように汗腺が発達していないので、汗をかいて体温を下げる事が出来ません。そこで農大では豚に水浴びをさせています。

水を浴びた豚はとても気持ち良さそうです。このまま元気に夏を乗り切れ！



## 夏の暑さにも負けず

いよいよ夏休みが始まりました。2年生は就職活動や卒業論文等に取り掛かりつつも、実家に帰省したりと久しぶりの長期休暇を満喫しています。一方、1年生は自分たちだけで管理をしなければならないため、責任感を持って取り組んでくれています。

鶏の管理でこの時期、注意しなければいけないのは熱中症です。鶏舎の換気はもちろん、鶏舎内を冷やさなければなりません。クーラーをつけるわけにはいかないので、屋根根に水を撒くことで暑さを軽減しています。学生たちも休み休み水分補給をして頑張っています。



## 学生クラブ紹介

### 茶 道 部



部員数 13名  
(男子7名 女子6名)  
活動日時 水曜日 18:00~  
活動場所 旧本館1階和室



こんにちは茶道部です！私たちは週に1回、外部講師の安藤宗艶先生をお呼びして稽古をしています。今年は1年生がたくさん入ってくれて、賑やかでみんな仲良く支え合って活動しています。また、季節によって和菓子や花の種類が変わるので名前を覚えられるなど勉強になります。男女問わず、誰でも大歓迎です

### 卓 球 部



部員数 8名  
(男子8名)  
活動日時 火曜日 18:00~  
活動場所 体育館



こんにちは卓球部です！僕達は交代で卓球台を使いながら、楽しく卓球をしています。練習メニューはあえて設定せず、好みに合わせて自由に練習しています。

自由な雰囲気ですが、5月に開催された東海近畿スポーツ大会では、男子ダブルスで優勝という成績も収めています。初心者の方でもラケットを貸し出しているのです、誰でも卓球を始められます。みんなで一緒に卓球を楽しみましょう！

## 研修紹介

# 農業技術研修

農業技術研修は、離職者の公共職業訓練に位置づけられた研修で、岡崎高等技術専門校の「愛知県雇用セーフティネット対策訓練農業技術研修科」として本校で実施しています。

これまで農業以外の仕事に就いてきたが、離職を機に農業を始めようとする方を対象とした研修で、毎年5月上旬から翌年1月下旬までの9か月間に亘って、農作物の生産技術や農業経営に関する知識などを習得します。



研修は月曜日から金曜日まで週5日フルに組まれており、木曜日は講義、その他の日は圃場で夏はナスやトマト、秋冬はハクサイやダイコンなど露地野菜の実習を行います。研修が始まった5月の頃は、トラクターなどの農業機械はもちろんのこと、鍬を持つのが初めてという人も農作業を行いながら次第に技術を身につけ、3ヶ月もすると手際よく畝を立てたり、ナスの整枝などができるようになっていきます。



一日は、朝9時前に教室に集合して、当番の「起立、よろしくお願ひします、着席」の号令で始まります。先生からは、当日の農作業内容の説明と合わせて、毎日農業の雑学などの話があり、研修生は先生の話を楽しみにしています。

令和4年度の研修生は26名で、6つの班に分かれ実習を進めています。2か月ごとに班長が交代しますが、班長はお互いの作業が遅れないように気を付けながら、それぞれが責任をもって作業を行っています。



また、講義や実習以外にも校外学習として、農地も農業経験もゼロの状態から独立自営就農を果たした先輩農家を訪ねて話を聴いたり、農産物直売所や農業総合試験場などへ視察に行きます。

修了式の時には、研修生全員が就農に向けての営農計画を作成・発表し、多くの研修生が新たな農業の担い手となっていきます。

## 研修生の声

### ○ 山口 裕輝さん

大学からアメリカへ留学し、その後ニュージーランドやオーストラリアでバックパッカーをしました。日本に帰国後も世界各地で見たワイナリーの景色が忘れられず、長野県のワイナリーに就職しワイン用ぶどうの栽培、ワイン醸造、海外輸出などを担当しました。そこで6次産業化のおもしろさと日本の農作物やその加工品の海外需要の多さを知り、農業に可能性を感じました。

去年から次第に独立して農業をやってみたいという考えが芽生え、勤務していたワイナリーを退職し地元の豊橋に戻り農業技術研修の受講を決めました。卒業後の目標は農業の6次産業化と農業法人の設立、また将来的には販路を東南アジアまで広め農産物の輸出入をすることです。



### ○ 柴田 委千弘さん

以前は、建設関係で現場監督の仕事をしていましたが遠方の仕事が多く、朝早く出て夜遅く帰宅する毎日でした。そんな時に父親の体調が悪くなったことで、できるだけ近くにしようと会社を辞めました。今までも兼業農家で水稻を作っていましたが、農大で勉強して収益性の高い農作物を作り、農家として生計を立てていこうと決めました。

今はまだ自信もなく将来のことを考えると不安になる時もありますが、農大に来て実習をしているとすごく楽しく新鮮で、一日一日がとても早く過ぎていきます。

自然相手で大変なことも多いと思いますが、自宅近くで自分のやり方で生活していくことは、幸せだろうと思います。

最後はペースダウンしながらも、70歳ぐらいまで農業に携われたら最高だなと夢見ています。





## トピックス

### 終業式 夏休みへ

7月21日（木）終業式が行われました。

鷹羽校長からは、7月までの4か月についての感想や、就職活動、充実した夏休みになるよう何事にもチャレンジしてほしい等の講話がありました。

終了後、学生それぞれは当番を除いて帰宅の準備に入りました。9月1日には、また元気な姿を見せてくれるよう待っています！



鷹羽校長の講話

### 農学科後援会 校内見学・懇話会が開催されました

7月13日（水）に農学科後援会主催で校内見学及び懇話会が開催されました。

当日は、学校からの近況報告や、普段、見ることができない校内での学生の様子を見学し、懇話会では教職員も含め、後援会会員同士の親睦を深めました。

また、この日は学生による農産物の実習販売も行われ、その頼もしい姿に大いに成長を感じ取った様子でした。



名倉後援会長あいさつ



鷹羽校長あいさつ



各専攻に分かれてほ場を見学



2班に分かれて懇話会

## おかざきかき氷街道へモモなどを提供

岡崎市額田地区の地域おこしイベントである『おかざきかき氷街道（岡崎市額田地区）』では、かき氷に地元で採れた果樹やお茶を使っており、去年から農大の果樹専攻が栽培したモモやブルーベリーを提供しています。

今年も7月1日から、モモを皮切りに果物の提供を始めました。

今後も、農大産のいちじく、ぶどう、梨、ブルーベリーなどをかき氷の素材として提供し、地域おこしに一役をかっていく予定です。



## 第1回進路セミナーを開催

7月8日（金）、1年生全員を対象に今年度第1回目の進路セミナーを開催しました。

今回は、初めての試みとして、就職情報会社大手、株式会社マイナビの農業活性化事業部から講師をお招きして、「“第一次産業”を知る～働く」と題して御講演をいただきました。講演では、最近のトレンドや「農業で働くとは」から「どのように仕事を選択するか」など求職者の視点も踏まえた内容で、学生からは大変参考になったとの声も聞かれました。

進路セミナーは、1年生を対象として、今後2月までに計5回開催する予定です。

## 生産高度化研修(イチゴ)の開催

6月24日（金）、生産高度化研修「イチゴの新品種愛経4号の生産安定について」を開催し、イチゴ生産者やJA職員をはじめ97名が参加しました。

講演は、愛知県農業総合試験場松浦主任から「イチゴの新品種愛経4号について」、西三河農林水産事務所の伊藤広孝専門員と新城設楽農林水産事務所植村萌絵技師から事例発表、JA あいち経済連原田楓氏より「イチゴの販売戦略について」、愛知県農業総合試験場近藤主任研究員から「新品種愛経4号の消費者評価について」、愛知県農業水産局園芸農産課の尾河課長補佐より「園芸優良種苗生産供給体制について」の6講演が行われました。

最後に、愛知県農業総合試験場大野主任専門員を座長に総合質疑が行われ、イチゴの生産安定に向けた積極的な討議が活発に行われました。

特に、参加者の新品種や環境制御、市場情勢などへの関心が高く、研修後のアンケートでは、「実践的で良かった」、「さらに多くの情報が欲しい」等の意見を多くいただき、有意義な研修となりました。



## お知らせ

### 愛知県立農業大学校

# オープンキャンパス 2022 開催

下記の予定で開催します。本校の学生との交流の他、学生寮の食事も体験できますので、農大への入学に関心がある方はぜひご参加ください！

第5回 2022年8月23日（火曜日）

- ※ 午前9時50分～正午
- ※ 事前に参加申し込みが必要です。
- ※ 食事体験（正午から）は、希望者のみで有料となります。

（内容）

- 農業大学校の概要説明
- キャンパスツアー（各専攻施設等の見学）
- 在校生との交流
- 受験相談等（希望者のみ）
- 食事体験（希望者のみ）

・詳細は本校ホームページを御覧ください。

## 愛知農業次世代リーダー塾 受講生募集

経営発展のためのノウハウを学び、将来の経営ビジョンを実現しましょう！

募集期間：8月15日（月）まで

募集人数：20名程度

対象者：以下の3つの要件を満たす方

- 愛知県内の専業農家であること
- 全講座（12回）に参加する意欲を有すること
- 経営発展を考えていること

開催期間：8月31日（水）～翌年2月8日（水）計12講座

受講料：24,000円（税込）

※ 申込書に必要事項を記入の上、郵送、FAX、Eメールのいずれかでお送りください。



・詳細は本校ホームページを御覧ください（申込書はダウンロードできます）。

## 愛知県立農業大学校

# 令和5年度 入学者選抜試験

### ●特別推薦入学試験

出願期間 9月13日(火)～9月16日(金)  
試験日 9月29日(木)  
合格発表 10月7日(金)  
試験科目 面接試験  
募集人員：20名程度



### ●一般推薦入学試験

出願期間 9月28日(水)～10月14日(金)  
試験日 10月31日(月)  
合格発表 11月11日(金)  
試験科目 小論文（800字以内）、面接試験  
募集人員：定員100名のうち2／3程度



### ●一般入学一次試験

出願期間 11月10日(木)～11月25日(金)  
試験日 12月9日(金)  
合格発表 12月20日(火)  
試験科目 数学Ⅰ、小論文（800字以内）、面接試験  
募集人員 定員100名の内、推薦入学合格者を除く数

・詳細は、本校ホームページを御覧ください